



亀田郷土地改良区

新潟県新潟市江南区東早通 1 丁目 2 番 25 号
〒 950-0148 TEL 025 (381) 2131 FAX 025 (382) 6756
ホームページ http://www.kamedagou.jp

発行責任者 五十嵐 修 平

東部地区 事務所	亀田出張所 381-7586 385-2018	③382-9339 ③385-4833	西部地区 事務所	石山出張所 286-4816 鳥屋野出張所 244-3778	②286-2340 ②243-1230
南部地区 事務所	曾野木出張所 280-6101 両川出張所 280-2130	②280-6218 ②280-3856	北部地区 事務所	大形出張所 273-1754 大江山出張所 276-2381	②270-0222 ②277-5521

● 亀田郷土地改良地区シンボルカラー ● 農地 ● 水をイメージ



組合員 4,799人 : 横越 975 / 大江山 771 / 亀田 726 / 両川 449 / 曾野木 487 / 鳥屋野 239 / 山湯 232 / 石山 336 / 大形 584 | 平成21年4月1日現在

亀田郷の歴史・文化を体感しよう

日本海政令市 いがた みずつち 水と土の芸術祭 2009

亀田郷では、水と土と密接な関わりをもちながら、先人達の知恵や努力により歴史・文化・産業がはぐくまれてきました。これらを見つめなおし、新潟の素晴らしい水と土の文化を国内外へ発信しようと、今年7月よりいがた水と土の芸術祭2009が開催され、亀田郷管内の各所でもアート作品の展示やイベントが行われています。

一昨年度より休耕田に水を張り、生物の生息空間として保全・管理されている丸瀧新田再生湿地では、「芦沼ものがたり」と題して、役目を終えて保管されていたミズグルマやキツォ舟などと野良着姿の人形を設置し、かつて「芦沼」と呼ばれた頃の農作業風景を再現しています。8月16日には、新潟大学農学部紙谷研究室のみなさんに講師となっただき、湿地の自然観察会を開催し、地元の子供達と植物の観察や魚とりを楽しみました。

また、8月22、23日には、たほりつこ氏（東京藝術大学教授）のアート作品「ルミナスー海面下湿地・バンドギャップー」が披露されました。オープニングセレモニーでは、紙谷新潟大学副学長や五十嵐

理事長、たほりつこ氏、小林自治会長から、再生湿地プロジェクトのねらいや経緯、活動などが紹介され、篠田市長からも地域ぐるみの取り組みに対して大きな励ましをいただきました。

会場には、200人以上の観客が集まり、虫の音が聞こえるなか、幻想的なイルミネーションと電子音楽奏者Yoko K.さんが奏でる環境音楽によるパフォーマンスや特産のユリ・ホワイト阿賀で彩られた小舟の展示などを鑑賞しました。

このほか、亀田郷の歴史を語るうえで欠かせない旧栗ノ木排水機場でも、磯辺行久さんやマリア・ヴィルカッラさんの作品が展示されています。

水と土の芸術祭を通じ、「芸術」という視点から、さまざまな人の手により、亀田郷に眠っていた宝物に新たな息吹が注がれました。先人達が育んだ水と土の歴史・文化をより多くの方に知っていただくとともに、四季折々の恵みと亀田郷の魅力を体感していただきたいと考えています。



「ルミナスー海面下湿地・バンドギャップー」
イルミネーションと電子音楽により、幻想的な舞台となった再生湿地。



ミズグルマを踏むパフォーマンス。



「芦沼ものがたり」
ミズグルマやキツォ舟と人形で、かつての農作業のようすを再現。



「再生湿地の自然観察会」
さまざまな水生植物や魚類、昆虫などを観察し、身近な自然にふれあった。



旧栗ノ木排水機場
水の記憶をよみがえらせるアート作品が出現。